

電波時計

(掛時計)

目次

1. ご使用上のご注意 (はじめにお読みください)	2
2. 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)	3
3. お手入れについて	3
4. 電池・時計の廃棄	3
5. 静電気の影響について	3
6. おもな製品仕様	4
7. 電波時計について	5
8. 各部の名称と役割	6
9. ご使用の手順	7
時刻のバックアップ機能	
明暗センサーのはたらきとスリープモニターボタン	
10. 電波受信の流れと電波サーチ機能の使いかた	8
11. 時計の掛けかた	9
12. 標準電波を受信できないとき	10
13. 手動での時刻合わせ 電波を受信できないとき、任意の時刻に合わせるとき	10
14. 電波受信機能のON/OFF操作	11
15. 電池の交換時期お知らせ機能	11
16. アフターサービスについて	12
お問い合わせ先	

製造販売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 さいたま市大宮区北袋町1-299-12


<http://www.rhythm.co.jp>


1. ご使用上のご注意 (はじめにお読みください)


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止 (してはいけないこと) を示しています。

❗は、指示する行為を必ず実行することを示しています。

 **警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容


 **必ず守る** 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 **禁止** 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る


- 電池に傷をつけない。
- 分解しない。
- 電池に充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。


 電池から漏れた液にふれない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

 **注意** 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

 **分解禁止** 分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。

 **禁止** 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
下記のような場所では使わない。

 **禁止** 精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器などの風が当たる所。
- 温度が -10°C 以下または $+50^{\circ}\text{C}$ 以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。 ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。 ●幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。

3. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
 - ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
 - 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。
- ※経年変化により、色合いなどが変化することがあります。

4. 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

5. 静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

6. おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10℃～+50℃
使用電池	表示用 : コイン形リチウム電池 CR2477 2個 バックアップ用: コイン形リチウム電池 CR2032 1個 (内蔵)
電池寿命	表示用 : 約5年 受信に成功して暗所で7時間/日秒針停止 バックアップ用: 工場出荷時より5年以上 (交換不要)
標準電波	標準電波を受信して時刻を修正
受信局	福島局 / 九州局 自動選択
受信回数	最少 1回/日、最多 12回/日
受信機能	ボタン操作で ON/OFF 切り替え
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示
手動時刻合わせ	ボタン操作
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、秒針を12時位置に停止
スリープモニター	暗所の状態を再現
電池の交換時期	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止
お知らせ機能	

自動受信について

受信状態により受信回数や受信開始時刻が変わります。

受信成功から72時間以内の場合	1～3回/日 AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
連続72時間以上受信に失敗している場合 初めから受信に失敗している場合 手動で時刻合わせをした場合	12回/日 奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40 など

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

CR2477	2個	CR2032	1個 (組込済み)		
取付金具	1個	くぎ	4個	木ねじ	1個
取扱説明書	本書	保証書	1枚		

7. 電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

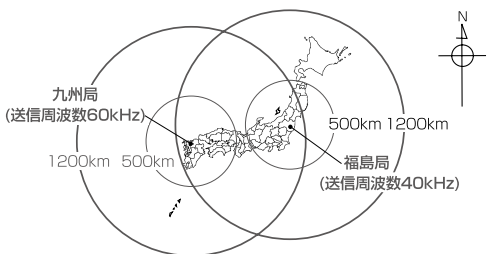
標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

電波の受信範囲について



送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jjy.nict.go.jp>)

標準電波の送信停止について

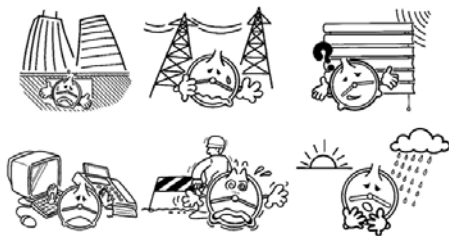
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

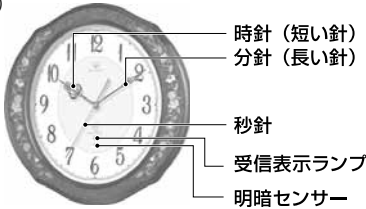
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



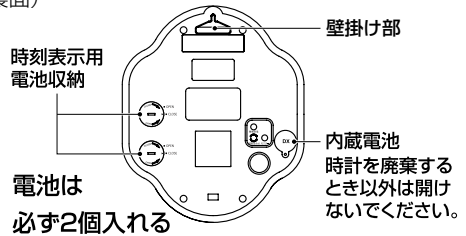
8. 各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので、形状などが実際の商品とは異なることがあります。

(正面)



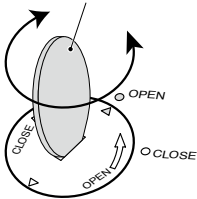
(裏面)



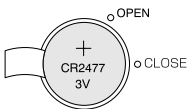
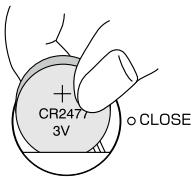
表示用電池の入れかた

電池ふたの取り扱い

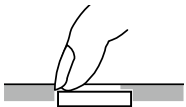
コインなどで回す



電池を斜めに挿し込み、押し込んでください。



電池の交換で電池を取り出すときは、ボタン電池の端をツメで引っかけてください。



※器具を使うときは、電池を傷つけないでください。

※金属製ピンセットなど通電性のあるもので電池を取り扱わないでください。電池がショートして危険です。

(操作部詳細)

強制受信ボタン

電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに押します。



時刻合わせボタン

手動で時刻を合わせるときに使用します。
不用意に押すと時刻が変わります。

時針・分針の動きについて

自動修正：順方向または逆方向に早送りします。
一時的に停止することもあります。
時刻表示：10秒単位に動きます。

秒針の動きについて

自動修正：早送りで動き、12時で停止することもあります。
時刻表示：滑らかな1秒ステップで動きます。

9. ご使用の手順

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は「**13. 手動での時刻合わせ**」(P.10)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

この時計は時刻を合わせて出荷しております。

表示用電池を2個入れ、強制受信ボタンを押してそのまま掛けてお使いください。

3分以内に時刻を表示します。

※左図の「表示用電池の入れかた」と「11. 時計の掛けかた」(P. 9)を参照してください。

※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

受信結果は、強制受信ボタンを押して15分以上経過してから受信表示ランプで確認してください。「10.電波受信の流れと電波サーチ機能の使いかた」(P. 8)参照。

受信成功：2秒に1回点滅→正しい時刻

受信失敗：消灯→不正確な時刻

※受信に失敗している場合は「12. 標準電波を受信できないとき」(P. 10)をご覧ください。

※まれに受信に成功しても電氣的なノイズなどにより誤表示することがあります。

※受信表示ランプは24～25時間以内の受信結果を表しています。

時刻のバックアップ機能

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合は時刻を修正しています。

表示用電池を取り外したり、電池切れのときには内蔵電池に切り替わり、時を刻み続けます。

※内蔵電池のみでは、時刻表示、受信表示ランプの点灯/点滅をしません。

※表示用電池により、時刻表示をしているときには内蔵電池をしません。

※電波受信機能が「OFF」に設定されているときは受信を行いません。

明暗センサーのはたらきとスリープモニターボタン

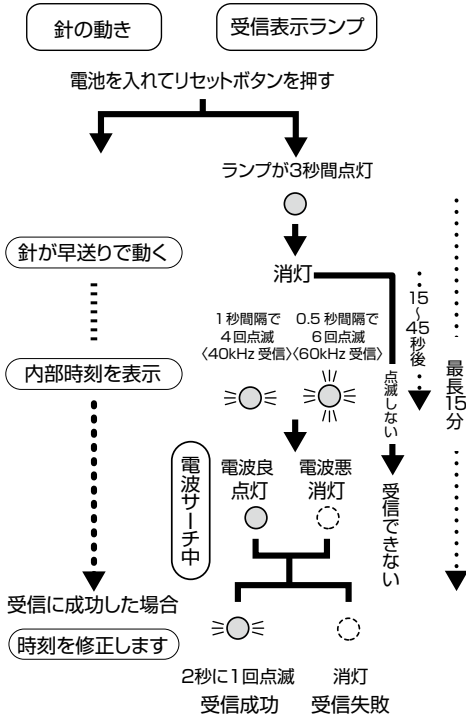
明暗センサーが暗いと判別した場合は、受信表示ランプを消灯して、秒針が12時位置に停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

スリープモニターボタンは、明暗センサーにより秒針と受信表示ランプが停止する様子を再現します。秒針が12時位置に近づいたらボタンを押し続けてください。12時位置で秒針が停止し、ボタンを離すと現在時刻に移動します。

10. 電波受信の流れと電波サーチ機能の使いかた

受信表示ランプの状態により、電波を受信できる場所かどうかを知ることができます。この機能は、電波受信機能がONのときに使えます。

電波受信の流れ



■操作手順

❶窓際など電波が受信しやすい所で、強制受信ボタンを押します。

受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が順方向または逆方向に動いたり、止まったりしながら、最長3分で時刻を表示します。

❷15～45秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。

およそ1分以上待っても点滅しない場合は、時計の向きや場所を変えて❶からやり直してください。

❸受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。

❹受信表示ランプの状態を確認します。

電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

㊤消灯→電波を受信できません。

❶からやり直し、設置場所や時計の向きを変えてみてください。

㊤不規則な点滅→電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。

㊤点灯→良好な電波状態です。

㊤2秒に1回点滅→受信に成功しました。

※サーチおよび受信は強制受信ボタンを押してから最長15分で終わります。

11. 時計の掛けかた



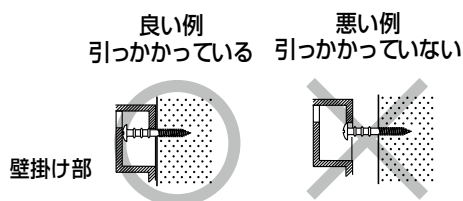
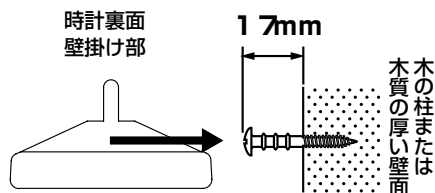
注意

掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

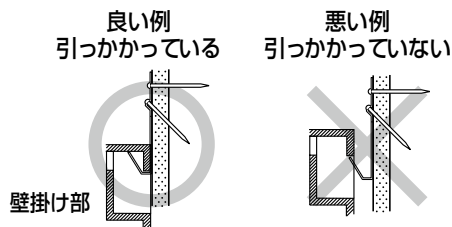


■ 石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具は、石こうボードの壁面用です。
- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- くぎは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

【取り付け方法】 取付金具 タイプA

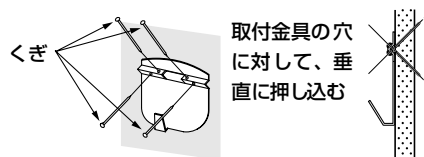
金具を水平にして①②の順序でくぎを押し込む。



■ その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

取付金具 タイプB



12. 標準電波を受信できないとき

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

13. 手動での時刻合わせ…電波を受信できないとき、任意の時刻に合わせるとき

電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるときには、時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

- ボタンを操作していないのに針が、早送りまたは停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 電波受信機能がONの状態では、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。
- 手動で時刻合わせをすると時間精度はクォーツ精度になります。

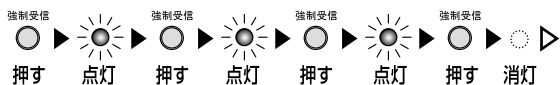
時刻合わせボタンの操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けると早送りで進みます。
時刻合わせボタンを押し続けると、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。
※秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

14. 電波受信機能のON/OFF操作

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



手動で時刻を合わせてください。

〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

15. 電池の交換時期お知らせ機能

表示用電池の交換が必要になると、明るい所でも秒針が12時位置で停止します。時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間^{注)}時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してください。

^{注)}ご使用状態により、この期間は前後します。

※電池を長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。

⚠ 注意 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 表示用電池は時計が動いていても、5年に1回定期的に交換してください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

16. アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理内容や送料により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4MY○○○

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）